

全国書店員が選んだ

いちばん!

売りたい本



2020年本屋大賞

全国書店員の投票で選ばれたベスト10

2018年12月～2019年11月に刊行された日本人作家の小説の中で、書店員自身が自分で読んで、いちばんお勧めしたいと思った作品です。

大賞

『流浪の月』

凧良ゆう(東京創元社)

2位

『ライオンのおやつ』

小川糸(ポプラ社)

3位

『線は、僕を描く』

砥上裕将(講談社)

4位

『ノースライト』

横山秀夫(新潮社)

5位

『熱源』

川越宗一(文藝春秋)

6位

『medium 霊媒探偵城塚翡翠』

相沢沙呼(講談社)

7位

『夏物語』

川上未映子(文藝春秋)

8位

『ムゲンの』

知念実希人(双葉社)

9位

『店長がバカすぎて』

早見和真(角川春樹事務所)

10位

『むかしむかしあるところに、死体がありました。』

青柳碧人(双葉社)

Supported by

NOLTY® PAGEM
ノルティ ペイジエム

手帳ブランドNOLTY / PAGEMは本屋大賞に協賛し、応援しています。